

エコアクション21

環境経営レポート

(運用期間:2019年01月~2019年12月)



認証番号0007030

令和2年3月27日



ユーライフホーム株式会社

環境経営レポート 目次

1. 事業概要
2. 品質・環境（エコアクション21）管理組織図
3. ユーライフホーム株式会社 環境経営方針
4. 環境経営目標
 4. 1 2019年度目標
 4. 2 2019年度以降の目標
5. 主な環境経営計画
 5. 1 二酸化炭素排出量の削減
 5. 2 廃棄物排出量の削減（一般廃棄物）
 5. 3 産業廃棄物のリサイクル率の向上
 5. 4 総排水量の削減（事業所の節水）
 5. 5 グリーン購入（エコマーク商品購入率の向上）
 5. 6 化学物質の適正使用・管理
 5. 7 (1) 省エネ工事の提案数
 5. 7 (2) 地域貢献（当社前バス停付近の掃除）
6. 環境経営目標の実績と取組結果の評価
 6. 1 環境経営目標の実績
 6. 2 取組結果評価
 6. 3 次年度の取組内容
7. 環境関連法規への遵守状況、及び法令違反・訴訟等の有無
8. 代表者による全体評価と見直しの結果

1. 事業概要

(1) 名称及び代表者名

名称 ユーライフホーム株式会社
代表者 代表取締役 藤貫 芳秀

(2) 所在地

本社 〒811-1356 福岡県福岡市南区花畑二丁目4番13号
梅林資材倉庫 〒814-0144 福岡市城南区梅林490-2

(3) 環境管理責任者及び事務局

責任者 藤貫 芳秀
E A 2 1 事務局

(4) 連絡先

E A 2 1 事務局 福島 多恵子
TEL : 092-566-5456
FAX : 092-565-4011
E-mail : info@u-lifehome.co.jp

(5) 事業内容

1. 建築工事業 2. 一級建築士事務所 3. 不動産の売買、仲介、管理、賃貸業

a) 特定建設業

許可番号：福岡県知事許可（特-28）第21204号

b) 宅地建物取引業：福岡県知事（4）第14193号

c) 一級建築士事務所：福岡県知事登録 第1-10942号

(6) 事業年度

1月1日-12月31日

(7) 事業の規模

資本金2500万円

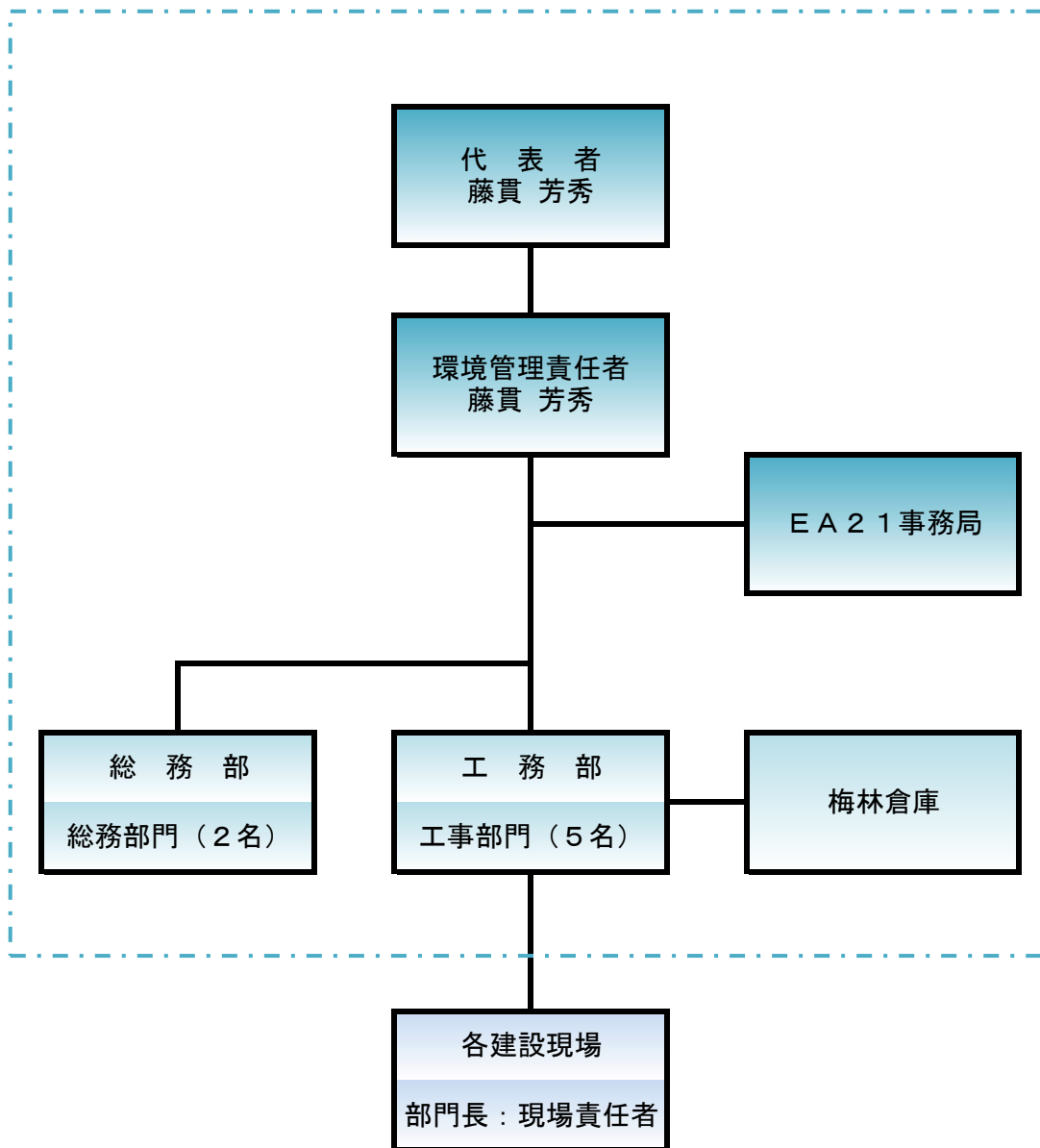
	2017年度	2018年度	2019年度	
売上げ額（千円）	309,562	550,260	—	
従業員	9人	9人	8人	
延べ床面積（倉庫含む）	529.17㎡	433.59㎡	433.59㎡	

(8) 認証・登録の範囲

対象組織は、全社（本社及び梅林資材倉庫）

対象活動は、建築工事業、一級建築士事務所、不動産の売買・仲介・管理・賃貸業

2. エコアクション21管理組織図



----- 認証対象組織

3. 環境経営方針

ユーライフホーム株式会社は、建設業の活動を通じて、地域社会のみならず地球規模の観点に立ち、地球環境との調和・共生を目指し、環境への取組を最重要課題として、全社一丸となって法令遵守のもと環境への取組を推進して環境負荷を継続的に削減する。

1. 事業活動に伴う環境への負荷を削減するために、以下の環境へ取組を行う。
 - (1) 車両、重機、機械類のエコ運転に努めて燃料を削減して二酸化炭素排出量を削減する。
 - (2) 事業所の電気の省エネルギーを推進して二酸化炭素排出量を削減する。
 - (3) 雨水の利用や節水により水使用量を削減する。
 - (4) 建設廃棄物の発生抑制・削減・リサイクルを推進して、産業廃棄物の最終処分量を削減する。
 - (5) 接着剤や塗料などの化学物質を適正に使用・管理する。
 - (6) 事務用品のグリーン購入を推進する。又建設資材は可能な限り再生品を使用する。
 - (7) お客様へ、省エネルギー工事を提案・推進する。
2. 当社の事業活動において関連する環境関連法規等を遵守する。
3. 地域社会や建設現場における環境保全活動を積極的に実施して、地域の環境保全に貢献する。

制定日：平成22年10月 1日

改定日：令和 元年 5月 1日

ユーライフホーム株式会社
代表取締役 藤 貴 芳 秀

4. 環境経営目標

4.1 2019年度 目標

当社は、2017年度の環境負荷を整理し、これを基に2019年の環境目標を次の通り決めました。

2019年度 環境目標

項目	目標	単 位	基準値	2018年度	2019年度
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂ % (削減率)	30,558.0 (2017年度実績) —	30,405.2 0.5	30,252.4 1.0
2	廃棄物排出量の削減 (一般廃棄物)	kg % (削減率)	158.4 (2017年度実績) —	157.6 0.5	156.8 1.0
3	産業廃棄物の リサイクル率の向上	% (再資源化率) % (増加率)	97.0 (2017年度実績) —	97.5 0.5	98.0 1.0
4	総排水量の削減 (事業所の節水)	m ³ % (削減率)	57.0 (2017年度実績) —	56.7 0.5	56.4 1.0
5	グリーン購入 (Eコマース商品購入率の向上)	% (Eコマース商品購入率) % (増加率)	52.6 (2017年度実績) —	53.1 0.5	53.6 1.0
6	省エネ工事の提案数	件 (増加件数)	16 (2017年度実績) —	17 1.0	18 2.0
7	地域貢献 (当社前バス停付近の掃除)	回 (増加回数)	13 (2017年度実績) —	14 1.0	15 2.0

※化学物質は、適正使用と適正管理を行う。

※二酸化炭素排出量は、2016年度九州電力の調整後排出係数0.483kg-CO₂/kWhで計算している。

4. 2 2019年度以降の目標

2019年度以降の目標は、2017年度の環境負荷を整理し、これを基に2020年度まで定めています。

項目	目標	単位	基準値	2018年度	2019年度	2020年度
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂ % (削減率)	30,558.0 (2017年度実績) —	30,405.2 0.5	30,252.4 1.0	30,099.6 1.5
2	廃棄物排出量の削減 (一般廃棄物)	kg % (削減率)	158.4 (2017年度実績) —	157.6 0.5	156.8 1.0	156.0 1.5
3	産業廃棄物の リサイクル率の向上	% (再資源化率) % (増加率)	97.0 (2017年度実績) —	97.5 0.5	98.0 1.0	98.5 1.5
4	総排水量の削減 (事業所の節水)	m ³ % (削減率)	57.0 (2017年度実績) —	56.7 0.5	56.4 1.0	56.1 1.5
5	グリーン購入 (Eコマース商品購入率の向上)	% (Eコマース商品購入率) % (増加率)	52.6 (2017年度実績) —	53.1 0.5	53.6 1.0	54.1 1.5
6	省エネ工事の提案数	件 (増加件数)	16 (2017年度実績) —	17 1.0	18 2.0	19 3.0
7	地域貢献 (当社前バス停付近の掃除)	回 (増加回数)	13 (2017年度実績) —	14 1.0	15 2.0	16 3.0

※化学物質は、適正使用と適正管理を行う。

※二酸化炭素排出量は、2016年度九州電力の調整後排出係数0.483kg-CO₂/kWhで計算している。

5. 環境経営計画

5. 1 二酸化炭素排出量の削減

(1) 電気使用量の削減

- ① エアコンの設定温度を決め、実行する。
- ② エアコンフィルターの清掃
- ③ 昼休みの消灯運動
- ④ 退出時のOA機器の主電源OFF
- ⑤ 工具利用作業の効率化による節電

(2) ガソリン使用量の削減

- ① エコドライブの推進
- ② 車両運行表<月2回(前期・後期)>の提出

5. 2 廃棄物排出量の削減(一般廃棄物)

(1) 可燃ごみ、不燃ごみ、紙の排出量の削減

- ① 可燃・不燃ごみの排出量を抑える
- ② 紙のリサイクル推進
- ③ 裏紙利用の推進

5. 3 産業廃棄物のリサイクル率の向上

(1) 産業廃棄物の総排出量の把握

- ① 現場での産業廃棄物の発生抑制に努める
- ② 現場代理人は産業廃棄物管理票の管理を確実にし、責任者に報告する
- ③ 産業廃棄物の適正処理を確認する

5. 4 総排水量の削減(事業所の節水)

(1) 節水活動

- ① 節水シールの貼り付け
- ② 節水活動の推進

5. 5 グリーン購入(エコマーク商品購入率の向上)

(1) 再生資源使用促進と使用件数の増加

- ① 資材発注において、再生材使用の可能性を検討し、可能な場合は確実に再生材を利用する。
- ② 環境負荷の自己チェック表に掲げた資材の調達量を把握し、責任者へ報告する。
- ③ エコマーク商品購入量を把握し、エコマーク商品の購入を促進する。

5. 6 化学物質の適正使用・管理

- ① 下請業者への購入量・使用量の適正な指示
- ② 出荷証明書の確認
- ③ 施工現場の確認

5. 7 その他

(1) 省エネ工事の提案

- ① 省エネ工事の適用性を検討し、可能であれば積極的にお客様に提案する。

(2) 地域貢献

- ① 当社前バス停付近の掃除をする。

6. 環境経営目標の実績と取組結果の評価

6. 1 環境経営目標の実績

2019年1月～12月に於ける

目標に対する取組実績は、次の通りであった。

項目	目標	単 位	基準値	2019年01月～12月		目標達成の判定 目標達成率
				2019年度目標	2019年度実績	
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂ % (削減率)	30,558 (2017年度実績) —	30,252.4 1.0	18,145 40.6	○ 166.7
2	廃棄物排出量の削減 (一般廃棄物)	kg % (削減率)	158.4 (2017年度実績) —	156.8 1.0	201.2 ▲ 27.0	× 77.9
3	産業廃棄物の リサイクル率の向上	% (再資源化率) % (増加率)	97.0 (2017年度実績) —	98.0 1.0	93.5 ▲ 3.5	× 95.4
4	総排水量の削減 (事業所の節水)	m ³ % (削減率)	57.0 (2017年度実績) —	56.4 1.0	53.0 7.0	○ 106.4
5	グリーン購入 (Eコマース商品購入率の向上)	% (Eコマース商品購入率) % (増加率)	52.6 (2017年度実績) —	53.6 1.0	52.0 ▲ 0.6	× 97.0
6	省エネ工事の提案数	件 (増加件数)	16 (2017年度実績) —	18 2.0	18 2.0	○ 100%
7	地域貢献 (当社前バス停付近の掃除)	回 (増加回数)	13 (2017年度実績) —	15 2.0	15 2.0	○ 100%

※化学物質は、適正使用と適正管理を行う。

※二酸化炭素排出量は、2016年度九州電力の調整後排出係数0.483kg-CO₂/kWhで計算している。

※削減目標の達成率=(目標÷実績)×100(%) 増加目標の達成率=(実績÷目標)×100(%)

6. 2 取組結果評価

① 二酸化炭素排出量の削減

全活動に於いて、

電力消費削減及びガソリン使用量削減によるCO₂の削減は目標を達成出来た。

② 廃棄物排出量（一般廃棄物）の削減

可燃ごみの削減は、目標を達成出来なかった。今後も削減に努めたい。

紙ごみについては、リサイクルステーションにまとめて排出した。

③ 産業廃棄物のリサイクル率の向上

現場での産業廃棄物処理は適正に行っている。

またリサイクル率向上の目標は達成出来なかった。

④ 総排水量の削減

総排水量については、普段から節水を心がけ、

目標を達成出来た。

⑤ グリーン購入

エコマーク商品購入率の向上は、目標を達成出来なかった。

⑥ 化学物質の適正使用・管理

SDSを入手して適切に管理している

⑦ 省エネルギー工事の推進

お客様への省エネ工事を提案し、受注につなげており

目標となる件数を達成した。

⑧ 地域貢献

弊社前バス停付近の掃除を行っている。 今後も地域貢献に努めたい。

6. 3 次年度取組内容

今年度以降も、産業廃棄物リサイクル率の向上をめざしたい。

今後も継続的改善を実施し、CO₂及び総排出量、廃棄物の削減に社員一丸となって取り組む。

7. 環境関連法規等の遵守状況、及び法令違反・訴訟等の有無

当社に適用される環境関連法規の遵守状況を確認したところ法令違反はありませんでした。

又、関係機関からの指摘や利害関係者からの訴訟などありませんでした。

環境関連法規名	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)	適
消防法	適
自動車リサイクル法	適
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)	適
振動規制法	該当なし
騒音規制法	適
悪臭防止法	該当なし
特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(オフロード法)	適
大気汚染防止法	該当なし
下水道法	該当なし
浄化槽法	該当なし
フロン排出抑制法	適
家電リサイクル法	適
小型家電リサイクル法	該当なし
労働安全衛生法	適
建築基準法	適

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

省エネについては、ガソリン量、電力量ともに目標を達成出来た。

今後も目標に向けて活動したい。

一般ごみは、目標を達成出来なかった。

産業廃棄物は、リサイクル率の向上を目標としている。今後もマニフェストの管理を徹底し、リサイクル率の把握と増加に努めたい。

グリーン購入としては、エコマーク商品やグリーン購入法適合商品の購入率向上に取り組んでいるが、今年度は目標を達成出来なかった。

省エネ工事の提案は、我が社の特色でもあるので今後も継続して実施したい。

マネジメントシステムとしては、E A21事務局と工務との連携がやや不十分と思われるので、今後は改善を望みたい。

環境方針の変更は今のところ考えていない。

また、前年度と比較したグラフを作成し見える化をはかり社員に周知させる。

9. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

9. 1 環境経営目標

2020年度の環境経営目標は、現在の2020年度までの中期目標を継続します。

9. 2 環境経営計画

2020年度の環境経営計画は、2019年度と同じ内容で進めます。